

平成十六年八月二日提出
質問第三四号

神奈川県内における米軍基地返還に関する質問主意書

提出者 田中慶秋

神奈川県内における米軍基地返還に関する質問主意書

神奈川県内には、今なお、十六か所二十一・四平方キロメートルにも及ぶ米軍基地が所在し、その多くが人口の密集している市街地に位置しており、これらの米軍基地は市民にとって、事故等のさまざまな不安を与えるとともに、生活環境の保全、都市整備の障害となっている。

日米安全保障体制の下で、米軍基地が果たしてきた役割や、その必要性は十分に認めるところであるが、米軍がアジアに展開している基地の見直しの流れの中で、特に遊休化している基地については、早急な返還が必要であると考ええる。

日米間の協議の中で、池子住宅地区の横浜市域に八百戸程度の住宅が建設されれば、根岸住宅地区、上瀬谷通信施設の一部、深谷通信所、富岡倉庫地区の返還について考慮することが可能になるとのこととなっているが、具体的な結論はまだ出ていないという状況であり、このケースのように、米軍住宅の建設と基地返還をからめようという米側の姿勢には大いに疑問を感じているところである。

そこで、以下の事項について質問する。

1 米軍住宅の建設と連動させることなく、今や遊休化している上瀬谷通信施設や深谷通信所については、

最近の都市化に伴う社会的ニーズに応え、地域のスポーツ施設やグラウンド不足の解消等を図るためにも、早急な返還実現を強く求めるが、如何か。

右質問する。